

2011/6/6

四国フットサルリーグ観戦マナーについて

6/5 に開幕した四国フットサルリーグには大勢のお客様に来ていただき、大変盛り上がりました。多くの方々に四国フットサルリーグに興味を持っていただき、深く感謝しております。今後もより多くのファンの方々に楽しんでいただけるよう、四国トップリーグとしての自覚を持ってリーグ運営に取り組んでまいります。

さて、施設利用マナーについて、すぼっシュ TOYOHAMA 様より厳しいお叱りをいただいております。再度、同じような事態が発覚した場合は施設の利用を禁止するというお話をいただいております。

具体的な内容は以下のとおりです。

【 すぼっシュ TOYOHAMA 様からのご指摘 】

- メインエントランス以外の場所を出入口として利用された
- 指定した靴箱以外の靴箱を利用された
- 靴を履き替えずに外出された
- 靴下のまま外出された
- トイレに入る際に靴を履き替えずに利用された
- 出入り禁止スペース（2階ランニングデッキなど）に入られた
- 2階ランニングデッキに入る許可を受けていると嘘をつかれた
- スタッフが注意をしたところ、意味のわからない言い訳をされた
- スタッフが注意をしたところ、逆切れをされた

香川県にはフットサルで利用できる体育館が非常に少ないのが現状です。過去にも利用者のマナーが悪いという理由で、フットサルでの利用が禁止となってしまった体育館が複数あります。

香川県の現状では、観戦にご来場いただくほとんどの方が選手としてプレーされている方だと思われます。上記のようなマナーとモラルに反する行動は香川県のフットサルの普及と発展を妨げ、自分たちの首を絞める愚劣な行為だと言えます。

現時点で四国フットサルリーグの規定を満たす体育館は香川県内にはすぼっシュ TOYOHAMA と大川体育館の 2 箇所しかありません。事務局としましても香川県開催を確保するために苦勞しているというのが実情です。万が一すぼっシュ TOYOHAMA の利用ができなくなってしまった場合は、四国リーグの香川県開催回数が減り、香川県のフットサルの普及及び発展の大きな妨げとなってしまいます。

今回のご指摘は非常に大きな問題だと捉え、四国リーグ事務局緊急会議を開き、対策を検討しました。

【 四国フットサルリーグ事務局としての決定事項 】

- 施設への出入りはメインエントランスのみを利用すること
- 靴箱はメインエントランスに入って右側の靴箱を利用すること
- 一時的な外出の場合でも必ず靴を履き替えること
- トイレに入る場合は指定のスリッパを利用すること
- 出入り禁止スペースには入らないこと
観客の皆さまが入れる場所は2階ランニングデッキとトイレのみです
- ゴミは各自で持って帰ること
- 施設利用者に迷惑がかからないよう、行動すること
- 施設スタッフの指示に従うこと
- 四国フットサルリーグ事務局の指示に従うこと
- 上記違反者を発見した場合は速やかに四国フットサルリーグ事務局へ報告すること

四国リーグ事務局としましては、施設との良好な関係を構築していくことは必須条件だと考えております。我々は施設を利用させていただいている身です。また、すぽっシュ TOYOHAMA は一般のお客様が多く利用されるスポーツジムですので、一般のお客様への配慮も必要だと考えております。

前述のとおり、マナーやモラルに欠ける行為が発覚した場合には今後の施設利用をできなくなってしまう可能性があります。このような事態になってしまった以上、マナーやモラルに欠ける行為をされる方に対しては厳しい対応をせざるをえません。今後、発見または報告を受けた場合は該当者のリーグへの出入りを禁止とさせていただきます。また、各県協会に報告させていただきます。

四国フットサルリーグはチーム関係者だけでなく、会場、審判団、運営スタッフ、そして観客の皆様と一体となって作り上げられるリーグです。

ご来場いただき観客の皆様にもご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

四国フットサルリーグ事務局